

20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5

さいたまけんりつ

図書館だより

NO. 64

図書館再発見

ごぞんじですか障害奉仕

— 埼玉県立図書館の視覚障害者サービス —

「朗読サービス」 ● 録音サービス ● 点字の豆知識



対面朗読の風景です。
読み手と聴き手の呼吸があって
一つの世界が生まれます。



彩の国さいたま

ごぞんじですか障害奉仕

「埼玉県立図書館の視覚障害者サービス」



朗読者の研修

県立図書館の様々なサービスの中で、「障害者サービス」は特にユニークなものの一つといえましょう。今回はこの「障害者サービス」についてご紹介したいと思います。

1. 特徴

- (1)長い歴史—県立浦和図書館が、点字図書収集貸出を始めたのが昭和28年、県立川越図書館がテープ図書の製作貸出を始めたのが昭和50年です。
 - (2)非常に多い製作・貸出数—都道府県立図書館では全国トップクラスです。
 - (3)県立4館での分担体制—県立浦和が点字と市販テープの収集と貸出。県立川越・久喜がテープの製作、貸出、対面朗読、市町村立図書館への協力援助サービス。県立熊谷が来館者への市販テープの貸出を担当しています。
 - (4)障害奉仕課の設置(県立川越・久喜)—点字や録音等の専門的な技術に精通した職員が、利用者の立場に立ったサービスができるように心がけています。
2. サービスに対する基本的な考え方—障害者サービスは、障害者を含む全

ての人に全ての本を提供するのがその目的です。このため障害者サービス未実施の市町村に住む利用者には直接サービスを行っています。

3. サービスの4つの柱 ①資料(点字図書・テープ図書)の製作、②資料の郵送貸出、③対面朗読、④市町村立図書館への協力援助。最近市町村立図書館への協力援助。最近市町村立図書館の発展に伴い、①の業務が増えてきています。次に、それぞれの内容を見ていきましょう。

①資料の製作

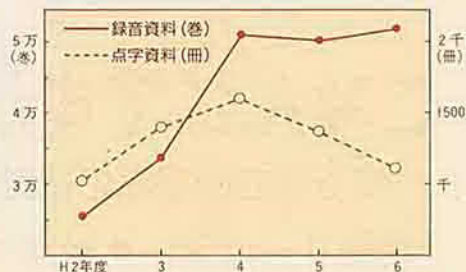
- (1)製作することの意味—リクエストのあったものはできる限り提供する姿勢で臨んでいます。全国のどこの図書館でも製作していない資料について製作しています。
- (2)テープ製作—県立図書館で養成し登録している朗読者が朗読し、テープは校正を行い、間違いの無いものを製作しています。
- (3)点字製作—リクエストや利用者アンケートにより製作しています。

②資料の郵送貸出

- (1)個人および図書館への貸出—個人利用者だけではなく、市町村立図書館からのリクエストにも応じています。



全国総合目録と録音資料送付用袋



録音資料・点字資料貸出数

(2)図書と雑誌の貸出—図書の他に週刊誌や月刊誌等のテープ・点字資料を製作し、貸出を行っています。

③対面朗読 テープの製作や対面朗読は朗読者をお願いしています。(現在の登録者は162名)毎年朗読技術の向上のための研修会を行っています。(写真)

④市町村立図書館への協力援助

- (1)資料の所蔵調査—パソコン通信により「全国総合目録」の検索をしています。
- (2)サービスに関する質問や見学に対応—県内外から多くの質問が寄せられています。
- (3)朗読者研修会への支援—研修内容の相談や講師の紹介、派遣等を行っています。
- (4)図書館からのリクエストによる資料製作—専門書の製作にも応じています。
- (5)県内録音図書総合目録速報版の製作—この内容は全国総合目録にも掲載されます。今後も市町村立図書館と協力してサービスの普及拡大につとめていこうと考えております。

「朗読サービス」とはどんなもの?



朗読室

視覚による読書が困難である方のために、要望のあった資料を図書館の朗読者が代わって読むことによって音声化し、図書館資料を利用していただくとするものです。

「朗読サービス」といわれるものには、大別して「対面朗読サービス」と「録音サービス」の二つがあります。

対面朗読

対面朗読サービスとは、文字通り直接来館された視覚に障害のある方を前にして、希望される資料を朗読者がじかに読むサービスをいいます。そのための専用の部屋(「朗読室」)が、川越・

久喜館に各2室あります。資料の形態変換(点字化・テープ化)には、大変時間がかかりますが、対面朗読を利用していただくと、即座に求める資料や情報を手にすることが出来、音声だけでは不明な字句や事柄についても、その場で補足的な説明が受けられるといった利点があります。

また、対面朗読には、資料の必要な部分だけを拾い読みしたり、調べごとがあるときに、数種の辞書・事典類を読み比べてみる等の利用の仕方ができます。

録音サービス



利用者からリクエストされた資料を朗読者が読み、テープに録音したものを貸出するサービスをいいます。視覚障害者の多くは中途失明者で、高齢になってから失明する人が多く、点字をマスターされる方はそう多くはありません。

録音資料は、テープレコーダーさえあれば、どなたでも簡単な操作で手軽に利用できることもあって、近年、障

害者用資料の中では、最もよく活用されるものとなっております。

しかしその反面、録音資料は音声のみの表現であるために、図表や写真を分りやすく説明するのが難しく、また、正確な読みを行うために、詳しい調査を必要とする等の点から、その製作には多大な時間と労力を要し、まだまだ資料の絶対数が少ないのが現状です。

そのため、利用者の多様な資料要求に応えるためにも、他館との相互協力(相互貸出)が、必要不可欠なものとなりますが、他館の資料製作状況を知ることの出来るものとしては、昭和56年(1981)の「国際障害者年」を機会に発刊された、「点字図書・録音図書全国総合目録」(国立国会図書館編集)があります。

埼玉県立図書館においても、刊行当初からその加盟館となり、全国の公共点字図書館等の協力の下に、資料の効果的な製作と、利用者への多様な資料提供に努めてまいりました。

今後とも図書館では、視覚に障害のある方の読書環境整備のため、川越・久喜館では、リクエストのあった資料の自館製作による提供、また浦和館にあつては、市販資料の幅広い収集を図っていきたくと考えております。

なお、対面朗読のご利用にあたっては、事前に図書館までご連絡ください。また、録音資料の貸出についても専用の郵送袋(箱)等使用し、米館が困難な方でも、無料で、郵送により行っておりますので、電話等て、お気軽にご相談ください。

点字の豆知識



点字を見たことがありますか?

身近なところでは、駅の乗車券自動販売機や階段の手すりなどに点字表示が見られます。エレベーターにも点字で何階か表示されており、最近では電化製品にも付けられています。また、道路にも黄色の点字ブロックが埋設されています。

点字は、触って読む文字です。

目が不自由な人にとって、点字は自由に読み書きができる「唯一の文字」です。点字は、図のように、縦3点、横2列の6点を一つの単位とし、その組み合わせで文字を構成しています。文字は表音文字(あいうえお)であり、かなだけでなく、アルファベットや数式、化学式、楽譜までも表すことができます。

いろいろな点字の本

点字本には、小説などの本の他にもたくさんの種類があります。例えば電話帳、週刊誌、新聞、選挙広報、幼児向けの絵本などがあり、最近では食堂のメニューも検討されています。

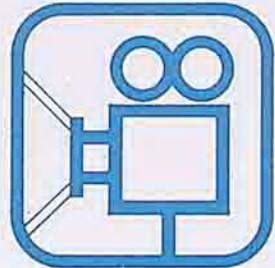
県立浦和図書館 (048-829-2821)

- 7月8日(土)10時
①「片耳の大鹿」、①「黒いギャング」
- 7月14日(金)14時
②「若草物語」
- 7月21日(金)14時
①「ネズミさんのおんがえし」
①「リトル・ツイズー湖が吠える日」
- 7月28日(金)14時
①「魔女の宅急便」
- 8月4日(金)14時
「キャプテン翼〜ヨーロッパ大決戦」
- 8月18日(金)14時
①「風のかげ橋」、①「鬼がら」
- 8月25日(金)14時
①「山の大将」、①「チビザル兄弟」
- 9月1日(金)14時
②「ジャズ・シンガー」
- 9月9日(土)10時
①「やせ牛物語」、①「山へ帰る」
- 9月22日(金)14時
②「キッド」
- 9月29日(金)14時
②「20世紀の幕開け(1900-1904)」

県立川越図書館 (0492-44-5602)

- 7月8日(土)10時、14時 ②「日暮現」
- 7月27日(木)10時、14時
①「キャプテン翼〜ヨーロッパ大決戦」
①「ミラクル太郎の自転車安全教室」
- 8月3日(木)10時、14時
①「孫悟空の妖怪退治」
- 8月10日(木)10時、14時
①「しんちゃんのおんがえし」
①「ビルマの豎琴」
- 8月24日(木)14時
②「ねぶた祭り」 ②「津軽のイタコ」
- 9月9日(土)10時、14時
①「長靴をはいた猫」
①「エリックカール・コレクション2」
- 9月22日(金)14時
②「天馬のふるさと〜天山北路」
- 「児童文学講座」
(お問い合わせは児童奉仕課へ)
- 7月18日(火)13時30分 定員140名
塩野米松氏「少年時代〜大草原の小さな家とピーターラビットを語る」

- ①子ども・親子向け
②大人向け



映画会



催し物

しんちゃんのおんがえし
さんりんしゃ
広島原爆資料館の
赤錆びた三輪車は
あの日まで
こんなにもたのしい
ゆめをのせていた...



ジャングル大帝
「親友」
勇気、愛、友情
動物たちの成長を
描く冒険ロマン

裸の大将放浪記
放浪の天才画家
山下清の生涯



県立熊谷図書館 (0485-23-6291)

- 7月1日(土)10時、14時
②「真昼の決闘」
- 7月14日(金)14時
②「北原白秋」、②「川端康成と伊豆」
- 7月21日(金)10時、14時
①「アンパンマンまじよのくにへ」ほか
- 7月27日(木)10時、14時
①「のりやすくんの火の用心」ほか
- 8月5日(土)10時、14時
②「マタギ」
- 8月10日(木)10時、14時
①「百目のあずきとき」ほか
- 8月18日(金)14時
①「約束」
- 8月24日(木)10時、14時
①「キャプテン翼〜ヨーロッパ大決戦」
ほか
- 9月2日(土)10時、14時
②「隠し砦の三悪人」
- 9月9日(土)10時30分
①「母をたずねて三千里」ほか
- 9月22日(金)14時
②「ねぶた祭り」、②「津軽のイタコ」

県立久喜図書館 (0480-21-2659)

- 7月8日(土)14時①「ちびでかの大冒険」
- 7月14日(金)14時①「なつみ・日傘の愛」
- 7月22日(土)14時②「自転車泥棒」
- 7月28日(金)10時、14時
①「くまのプーさん」きせつってなあに」
ほか
- 8月4日(金)10時、14時 ①「白い馬」
- 8月12日(土)10時、14時
①「ジャングル大帝」
- 8月18日(金)10時、14時
①「アステリックスの冒険」
- 8月26日(土)10時、14時 ②「キッド」
- 9月1日(金)14時 ②「裸の大将放浪記」
- 9月9日(土)14時 ①「まえがみ太郎」
- 9月16日(土)14時
①「トキよ舞い上がれ」ほか
- 9月22日(金)14時
②「戦艦ポチョムキン」
- 夏休み子ども人形劇場
7月25日(火)14時
①「びこともこのはたけ」劇団みやしろ